

浦安市立美浜南小学校区居住者各位

災害時浦安市立美浜南小学校避難所設営・運営方針

避難者の基本行動

- ・避難所(美浜南小学校)での生活は、自宅の倒壊、破損等により生活が困難な市民並びに帰宅困難者を原則とする。
 - ・災害が発生した場合の避難は、住民の自主的な避難とするが、避難勧告・指示等出た場合これに従う。
- ① 家を離れ避難先に向かう時は、電気・水道・ガスなどの元栓を閉める。
 - ② 避難するときは、2～3日分の食料や飲物等持参する。
 - ③ 避難所での受付は、原則体育館とするが、当日の指示に従うこと。尚、受付では町内毎、住所氏名を登録する。
 - ④ 乳幼児対策(授乳含む)と女性着替え部屋を校舎内に設置をする。場合によっては洗濯干し場も確保する。
 - ⑤ 原則として、学校のトイレ・水道は使用できないことを念頭におく。
 - ⑥ ペットは避難所内(校舎・体育館内)に連れ入れることはできない。
 - ⑦ 避難所では、机・椅子の搬出や場所を確保などの居住に必要な活動など健常者に協力をお願いすることがある。

平成29年7月22日 改訂版

浦安市立美浜南小学校避難所設営協議会

★ 避難所生活での注意点。.....

- ・ 外出中の家族には避難先を記した連絡メモを目立たない場所(家族間で決めておく)に残す。
- ・ 荷物は最小限の非常時持出品に限る。(リュックサック推奨)
- ・ ウエットティッシュは必需品と認識する。(1人2パック以上要)
- ・ ハンドタオル(顔拭きタオル)は必需品と認識し、場合によっては枕になる。
- ・ レジ袋を何枚か用意しておく。(履物入れ等)
- ・ 最低限の飲料水(1人2リットル)缶詰又は調理せず食べられる備蓄食料品(アルファ米・乾パン等)があると心強い。
- ・ 仮設組立トイレや多少の貯留水の用意はある。
- ・ 高齢者は脱水症状になりやすいので、備えや注意が必要。
- ・ 環境の変化で(トイレが不便や、水不足の不安)から水を飲むのを控える傾向に注意を要す。
- ・ 水分不足は食欲不振、下痢や嘔吐等の脱水症状の原因となりえる。
- ・ 電気コンセントが少ない(モバイル製品の充電が出来ない)ことを認識する。
- ・ 生活不活発病・インフルエンザ・深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)など気をつける。
- ・ 別の避難場所への移動や帰宅の場合は、届出、所在を明確にしておく。
- ・ 避難者は地域外の帰宅困難者も居ることを念頭においた生活と認識する

★ 自宅での準備.....

- ・ 緊急時用・防災備蓄応急給水袋等(ワールドウォーターバッグ(株))6リットル準備するのが望ましい。
- ・ 飲食物は賞味期限前に使い回して交換するよう心掛ける。
- ・ 安否確認シール(リボンなど)は地域での決め事をした方法とする。
- ・ 居宅の留守を明確にする際は、盗難への対応注意は必要。
- ・ 家族間で避難場所・連絡方法を確認しておく。
- ・ 日頃から「トイレトペーパー」「ポケットティッシュ」「便袋」等用意しておく。
- ・ 長袖・長ズボン・軍手・スリッパ等を準備しておく。
- ・ 常飲薬など・日常生活で持込品を話し合い決めておく。